

一 曆法

新疆の曆法は、支那曆と回々曆を用ゆ。回々曆は三百六十四日を以て一年とし一年を十二箇月に分つは、支那曆に異ならず。然れども其の實際を見れば八雜爾パザールに依て計算す。八雜爾パザールとは晝市の義にして、七日を一八雜爾パザールとし、毎七日に一回市を開くに因る。隨て五十二八雜爾パザールを一年とするものなり。

二 纏頭の言語

纏頭回の使用する言語は、土耳其語の變化したるものと、本質を失へる支那語を混淆したるものとす。今其例を擧ぐれば左の如し。

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 一を(ビー) | 二を(イケ) | 三を(エチ) |
| 四 (テヨツト) | 五 (バシ) | 六 (アルト) |
| 七 (イエルト) | 八 (セツキス) | 九 (トツクス) |
| 十 (オン) | 廿 (イーコルメ) | 卅 (オツトス) |
| 四十(ケレツク) | 五十(アルレツキ) | 六十(オツトメシ) |
| 七十(イエツトメシ) | 八十(セキセン) | 九十(トクサン) |